

意見書第10号

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）交渉参加に反対する意見書（案）

上記の意見書を提出する。

平成23年11月4日

提出者 野洲市議会議員 小菅 六雄

賛成者 野洲市議会議員 高橋 繁夫

賛成者 野洲市議会議員 三和 郁子

ＴＰＰ（環太平洋パートナーシップ協定）交渉参加に反対する意見書（案）

政府は、アメリカやオーストラリアなどが参加を表明しているＴＰＰ（環太平洋パートナーシップ協定）について、１１月１２日から始まるアジア太平洋経済協力会議（ＡＰＥＣ）首脳会議を念頭に交渉参加する方針を示しています。

ＴＰＰが原則、例外品目を認めない完全な関税撤廃をめざしており、参加することによって海外の安価な食料の輸入が飛躍的に増加します。米の生産は９割減少、食料自給率は４０％から１３％へ低下する（農水省試算）など、国内の一次産業が壊滅的な打撃を受け、食料自給率の更なる低下や国土・農地の荒廃を招くことは明らかであります。

また、ＴＰＰは「非関税障壁」撤廃の名のもと、食の安全性や医療、金融や知的財産、労働などのあらゆる分野での「規制緩和」が行われ、国民生活に深刻な影響を及ぼします。

よって、ＴＰＰへの交渉参加は行わないことを強く求めます。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成２３年１１月 日

滋賀県野洲市議会議長 田中 良隆

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣
厚生労働大臣

} 宛